

りそな外為レポート

りそな WEEKLY COLUMN

りそな外為レポート

～株高は続くよ、どこまでも～ (P2)

りそな銀行 市場トレーディング室
カスタマーディーラー 中里 信介

今週のドル円予想レンジ **104.30 ~ 105.90**

りそなWEEKLY COLUMN

世界三大投資家 (P3)

りそな銀行 市場トレーディング室
坂本 峻一

- 世界三大投資家 冒険投資家 ジム・ロジャーズ 大予測
- コロナショック後の株高を的中させる一方「最悪の結末」を警告
- 株式市場が変動すれば為替市場にも大きな変化

2021/2/15

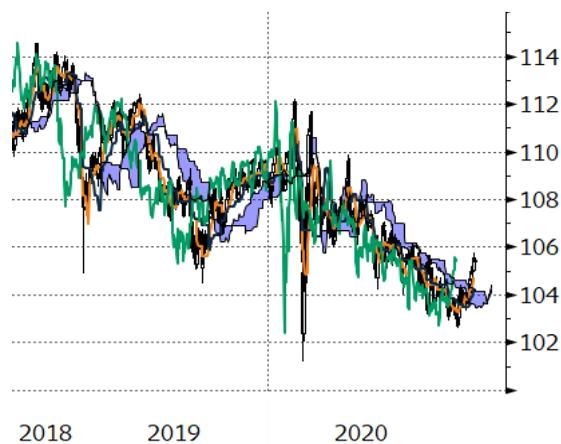
りそな外為レポート

～株高は続くよ、どこまでも～

今週のドル円予想レンジ **104.30 ~ 105.90**

(りそな銀行市場トレーディング室予想 発行当日の10時時点)

◆ドル円一目均衡表（日足）



◆為替相場のすすめ

連日、株式市場の高値更新が止まらない。日経平均株価は朝夕1990年以來の30,000円台に乗せた他、米国の主要株式指数は最高値更新を続けている。株価以外にも、ビットコインの上昇や原油価格の上昇など、一部資産価格の上昇も進んでいる。コロナ以降、各国中央銀行の政策によって金余りの環境が続いているが、ここにきてさらに顕著な動きが生じている。為替相場は、深刻な金余りからドル売りフローが発生しドルインデックスの下落とドルショートのパポジションが積みあがってきた。しかし、足元ではその兆候にやや反転の兆しが見える。ここ最近では米国長期金利の上昇とともに、ドルインデックスの上昇が進み、ドル円は一時105円台を付けた。先週はやや調整が入り、週中盤は104円台で推移していたものの、金曜日に米長期金利は去年3月以來の1.2%台まで回復し、再び105円台に乗せる展開。

インフレリスクを内包しながら株価はひたすら上昇しているが、為替は緩やかに上昇していく展開を予想する。
(カスタマーディーラー 中里信介)

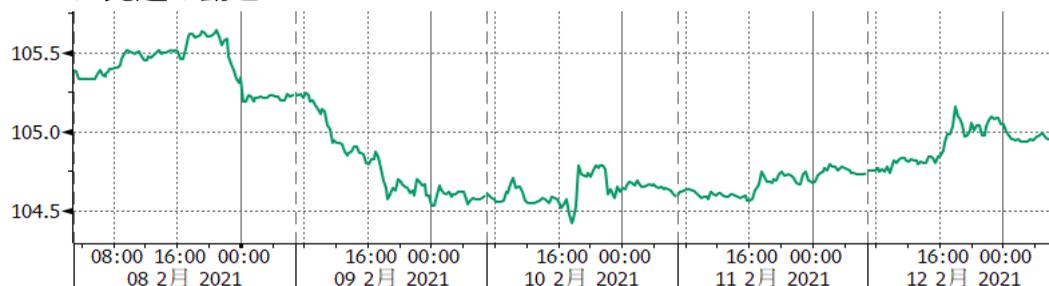
◆今週の日程

15日(月) 日	20/4Q GDP1次速報	17日(水) 米	FOMC議事録 (1/26,27)
17日(水) 日	12月機械受注	18日(木) 米	1月住宅着工・許可件数
17日(水) 日	1月貿易統計	19日(金) 日	1月CPI
17日(水) 米	1月小売売上高	19日(金) 欧	2月PMI
17日(水) 米	1月鉱工業生産	19日(金) 米	1月中古住宅販売

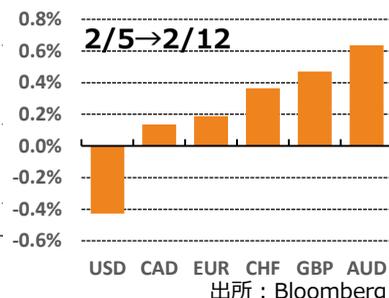
◆今週の予想 (ドル高 強い ↑ 普通 ↑ ドル安 強い ↓ 普通 ↓) NY引け値 2月12日(金) 104.94円 VS 2月19日(金)

東京									大阪			埼玉				
井口	中根	石川	湊	小新	田中	中里	伊藤	村永	小林	鈴木	武富	上野	小林	津田	石井	佐藤
↑	↓	↓	↑	↓	↑	↑	↓	↑	↓	↓	↓	↓	↓	↑	↑	↑

◆先週の動き



主要通貨対円パフォーマンス



◎注意事項
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

2021/2/15

りそな WEEKLY COLUMN

世界三大投資家

- 世界三大投資家 冒険投資家 ジム・ロジャーズ 大予測
- コロナショック後の株高を的中させる一方「最悪の結末」を警告
- 株式市場が変動すれば為替市場にも大きな変化

りそな銀行 総合資金部
坂本 峻一

はじめまして。総合資金部に配属となり3か月の新米ディーラー、坂本と申します。本コラム初登場です。日々勉強中でございますが、よろしくお祈りいたします。

早速ですが、みなさまは“世界三大投資家”をご存じでしょうか。私はこの部に来るまで全く知りませんでした。何をいまさらと言われるかもしれませんが、下記が世界三大投資家と呼ばれる方々であり、彼らにはそれぞれ“異名”がつけられています。

- ・ジム・ロジャーズ→「冒険投資家」、「金融界のインディアナ・ジョーンズ」
- ・ウォーレン・バフェット→「オマハの賢人」、「投資の神様」
- ・ジョージ・ソロス→「イングランド銀行を破った男」

わたしはとてこの“異名”に憧れています。中でも私のお気に入り「イングランド銀行を破った男」です。カッコいいですね。

本コラムでは「冒険投資家」ことジム・ロジャーズの2020年5月21日に発行された『ジム・ロジャーズ大予測』についてご紹介させていただきます。

本書は、新型コロナウイルス流行後の世界の展望、投資家としての目線などがインタビュー形式で記された著書です。ロジャーズ氏は新型コロナウイルスを中世に流行したペストやインフルエンザと比較して、「メディアがセンセーショナルに書き上げたもの」、「市場の混乱は人工的なパニックだ」との考えを記しています。そしてロジャーズ氏はFRBをはじめ世界の各中央銀行の量的緩和に批判的な姿勢を見せる一方、「株式相場は今後大きく下げる前に、大きくラリー(再上昇相場)する可能性がある」と何度も強調しています。

世界三大投資家



ジムロジャーズ 大予測

2021/2/15

りそな WEEKLY COLUMN

まさにこのインタビュー時(20年4月)日経平均は20,000円近辺・S & P 2,800ドル近辺でした。そして現在：日経29,000円台・S&P3,900ドル台推移しており、「大きく上昇する」との予測は的中していることがわかります。



今後のロジャーズ氏の見通し

ロジャーズ氏は、「ラリーが起こったとしても、それはきわめて人工的に作られたもので、最終的には事態を悪化させるだけのひどい政策だ。根本的な解決を後回しにして債務は増える一方。実態のない投資マネーがどんどん膨張し、最悪な結末になることは目に見えている。」とも述べています。「最悪な結末」のタイミングについて著書の中では明記されていないものの、「この最悪の事態の最大の問題点は選挙や立場を意識した政治家だ」と言っていることから、バイデン新政権がスタートした今年以降を予想しているのではないのでしょうか。もしこの予想が当たるならば、今後株式市場の大きな変動が起こりうるかもしれません。

ほかにも本書では、

- ・中国が次の経済覇権を握り、朝鮮半島が魅力的な地域になる
- ・日本の金融緩和や人口構造により日本の価値が低下していく

など、これらを踏まえた個人投資家への投資アドバイスにも幅広く触れられています。私の担当の為替については直接触れられていませんが、さまざまな見方で物事を捉えており、参考になります。昨今、世界的な株高がマーケットで注目されており、どのアセットを取引するにも株式分析は欠かせないからです。

◎注意事項
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。



りそな WEEKLY COLUMN

先日、米国株が大幅下落した際にはドル買いが大きく進みました。もしロジャーズ氏の予想通り、株式市場が大きく変動することが起これば、為替市場にも大きな変化がもたらされるでしょう。

以上、世界三大投資家の一人であるロジャーズ氏の書籍をご紹介しました。コロナ後のマーケットについて専門家の意見がはっきりと書かれた書籍はそれほど多くありません。ご興味ある方は是非手にとってみてください。

もちろん、こうした情報を鵜呑みにしてしまうことは望ましくありません。情報を踏まえたうえで、「自らの考え・相場観を持つこと」を私は日々勉強中でございます。お客さまのお役に立てるよう、これからも日々精進して参ります。

【参考文献】

ジム・ロジャーズ著『ジム・ロジャーズ大予測』東洋経済新報社、2020

最後に

